

特集

今さら 2006 年皆既日食 in エジプト

渡辺洋一（大阪市立玉出中学校）

1. 見られなかった今年の皆既日食

今年（2009 年）は上海で皆既日食を見るべくツアーを申し込んでいたが、諸事情で早々にキャンセルしたばかりか、当日もいろいろあって部分日食どころではなかった。

代わりにと言っては何であるが、2006 年 3 月にエジプトで皆既日食を見てきているので、簡単に報告したい。

2. 思い立ったら吉日

学校の春休みは、新年度の準備等で結構忙しい。しかし、転勤が決まり、春休み（とはいえ、3 月の間）、暇となってしまった。そういえば皆既日食があったはずだと、某旅行会社のホームページでツアーを探すと、ちょうどキャンセルが 1 件出ていたので、迷わず申し込んだ。初心者向けの一眼デジカメと、ちょっとした望遠レンズを買い込み、エジプトに向かった。

エジプトでは、まずピラミッドやスフィンクスなどを観光して、カイロ郊外に 1 泊した。翌日、観測地サラーム（図 1）へバスで向かった。



図 1 サラーム（観測地）の位置

サラームはリビアとの国境の町で、首都カイロからおよそ 500km、バスで 6 時間のところに位置する。外国人ツアー客は、軍が管理している国境地帯に特別に設けられた観測テント村に宿泊することとなった。

3. 感激の皆既日食

現地時刻 3 月 29 日 11 時 20 分 07.7 秒、第 1 接触を迎えた。前々日の雨のおかげで、視界は良好。レンズを通せば、確かに欠けているのがわかるが、周りの様子はあまり変化が見られない。おニューのカメラで、ひたすら太陽が欠けている様子を撮影した。また、ピンホールメガネを拝借し、部分食の像を撮影した（図 2）。

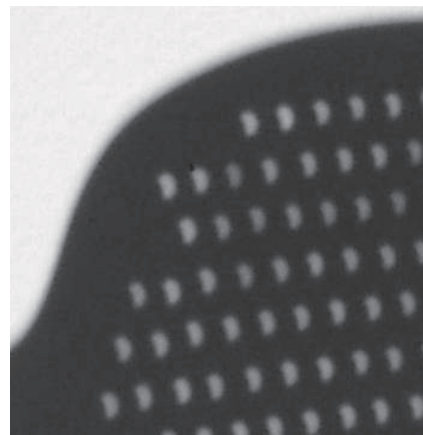


図 2 ピンホールによる部分食の像

周囲も少しずつ暗くなり、体感温度も下がってきた。複数台のカメラに加えて、温度計やら照度計やらを駆使している凄い方がいらっしやしたが、その方によると、気温が 34℃ から 17℃ まで下がったそうだ。（先日の年会で、そんなに下がるはずがないと言っていた

方がいたが、自宅でメモを調べたら、やはり下がっていました)。

辺りはだんだんと暗くなり、金星が見え始め、とうとう 12 時 38 分 06.2 秒、第 2 接触となった。始めのうちは、ダイヤモンドリングやら何やらを露出を変えながら何枚も撮影したが、皆既食が 4 分弱しかないのにあまり肉眼で見えていないのに気づき、後半は自分の目にしっかりと焼きつけるように心がけた。

(写真はツアーでお友達を作って後で送ってもらうことにし、見ることに専念するのが賢いかも?)。



図 3 ダイヤモンドリング (第 3 接触)

12 時 42 分 02.2 秒、第 3 接触。再びダイヤモンドリング (図 3) を拝み、皆既食終了。本当にあっという間に終わってしまった。言葉にできない感動を受けた後は、また皆既日食を見に行かなくては、と強く思った。

その後 13 時 59 分 57.3 秒の第 4 接触まで部分食が続くわけだが、皆既食を見た後の部分食などどうでもよくなり、そこそこに撮影しながら、昼食をとった。

サラームを後にし、翌日は再びカイロ近郊へ。ピラミッドとスフィンクスの「音と光のショー」を見に行ったが、ちょうどピラミッドの左側に月齢 1 の月 (図 4) を見ることができた (わかります?)。

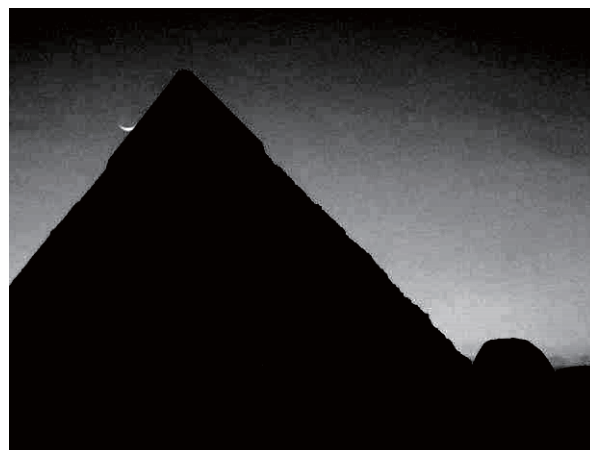


図 4 ピラミッド・スフィンクスと月齢 1 の月

4. この感動をどう伝えたらいい?

我ながらよい写真が撮れたので、日食の様子を授業で紹介するわけだが、あの感動がなかなか伝わらない。私の話が下手なのかもしれないが、だんだんと青暗くなっていく (青暗いという言葉があるのか分からないが) 幻想的な風景を言葉でもって伝えるのも、写真でもって伝えるのも、なかなか難しいものである。